

GENESISの概要

岩橋一小林 千草 理化学研究所 計算科学研究センター

2021/01/29 GENESIS講習会 -Cygnusを用いたハンズオン-

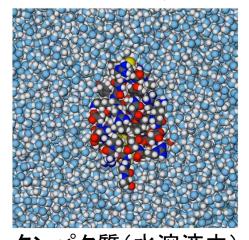


内容

- 分子動力学法ソフトウェアGENESIS
- GENESISの高速化、性能
- GENESISでできること
- 今日のハンズオンの簡単な説明



分子動力学法(MD)シミュレーション



タンパク質(水溶液中)

ニュートン方程式による計算

- 1. 原子に働く力を計算
- 2. 数値積分(時間発展)の繰り返しにより運動 の解析が可能

1msの計算には5×10¹¹回の繰り返しが必要 ボトルネックは力の計算

$$\frac{d\mathbf{r}_{i}}{dt} = \frac{\mathbf{p}_{i}}{m}$$

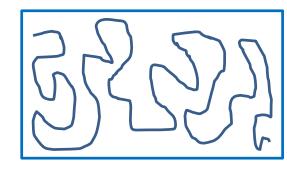
$$\frac{d\mathbf{p}_{i}}{dt} = \mathbf{F}_{i}$$

$$\mathbf{p}_{i}(t + \Delta t) = \mathbf{r}_{i}(t) + \frac{\mathbf{p}_{i}}{m}\Delta t$$

$$\mathbf{p}_{i}(t + \Delta t) = \mathbf{p}_{i}(t) + \mathbf{F}_{i}\Delta t$$

運動方程式

数值積分



長時間の原子・分子運動



Generalized **E**nsemble **Si**mulation **S**ystems

(GENESIS)

Version 1.0: Jung, Mori, *et al. WIREs Comput. Mol. Sci.* **5**:310-323, (2015)

Version 1.1.x: Kobayashi, Jung, et al. J. Comput.

Chem. 38, 2193-2206 (2017)

• 理化学研究所にて2010年から開発

- * 垤化子研先別に (2010年から開発
- スーパーコンピュータの性能を最大限に引き出すことを目的に独自の高速化、 超並列手法
- HPCIシステムの多くのスパコンにプリインストール(もしくは、近日中に公開)
- フリーソフト(LPGLv3)として公開中

Please visit our website

https://www.r-ccs.riken.jp/labs/cbrt/

"GENESIS riken"で 検索してください!





ソフトウェアGENESIS

- 2つのMDエンジンと30を超えるトラジェクトリ解析用ツールからなる アプリケーションスイート
- 異なるアルゴリズムを持つ2つのMDエンジン
 - ✓ 超並列・高速化コードを持つspdyn (GPU利用はこちら)
 - ✓ 粗視化モデルやQM/MM計算も可能で、ユーザが比較的容易に 機能を導入可能なatdyn
- 言語はFortran90、一部がC言語
- spdyn/atdyn共にMPIとOpenMPによるハイブリッド並列



GENESISの特徴



独自に開発された高速化・並列手法

レプリカ交換MD法(REMD)など のサンプリング計算 全原子・粗視化モデルによるマルチ レゾリューション手法

6



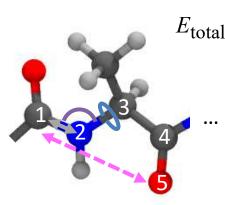
内容

- 分子動力学法ソフトウェアGENESIS
- GENESISの高速化、性能
- GENESISでできること
- 今日のハンズオンの簡単な説明



生体分子MDの力の計算

力の計算は結合性、非結合性相互作用により計算



$$E_{\text{total}} = \sum_{\text{bonds}} k_b (b - b_0)^2$$

$$+\sum_{\text{angles}} k_a (\theta - \theta_0)^2$$

dihedrals

+
$$\sum_{\text{dihadrals}} V_n[1 + \cos(n\omega - \gamma)]$$
 Dihedral (ex. 1-2-3-4, ...)

結合性 O(N)

非結合性

 $O(N^2)$

水素: 薄灰 炭素: 濃灰

酸素:赤 窒素: 青

$$+ \sum_{i,j \notin \text{bonding}} \left\{ \varepsilon_{ij} \left[\left(\frac{r_{0ij}}{r_{ij}} \right)^{12} - 2 \left(\frac{r_{0ij}}{r_{ij}} \right)^{6} \right] + \frac{q_i q_j}{r_{ij}} \right\}$$

van der Waals

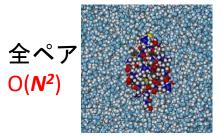
Coulomb

演算時間のボトルネックは非結合性相互作用計算



非結合性相互作用

- ボトルネックとなる非結合相互作用をカットオフ長より近い部分と遠い部分 に分け、遠い部分をフーリエ変換により逆空間で計算
- 直接のペア計算はNのオーダーとなる



カットオフ長より近い部分 O(C**N**)

+ 遠い部分

$$\sum_{\left|r_{ij}\right| < R \& i, j \notin bonding} \left\{ \varepsilon_{ij} \left[\left(\frac{r_{0ij}}{r_{ij}} \right)^{12} - 2 \left(\frac{r_{0ij}}{r_{ij}} \right)^{6} \right] f(r_{ij}) + \frac{q_{i}q_{j} \operatorname{erfc}(\alpha r_{ij})}{r_{ij}} \right\} + \sum_{\mathbf{k} \neq 0} \frac{\exp(-\mathbf{k}^{2} / 4\alpha^{2})}{\mathbf{k}^{2}} \operatorname{FFT}(Q(\mathbf{k}))$$

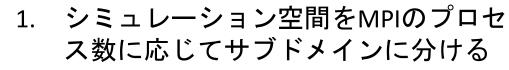
実空間, O(CN) 計算・メモリアクセス・1対1通信 逆空間, O(NlogN) 全体通信



ドメイン分割: Midpoint cell method (1)

 $r_c/2$

Jung et al. J. Comput. Chem. 35, 1064 (2014)



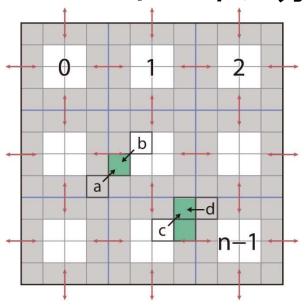
- 2. サブドメインを更に小さなセルに分ける
- 3. MPIコミュニケーションは隣接プロセスと境界のセルの部分について行う

利点

- ・ 高い並列効率
- プロセス数が増えると演算、メモリ双方が減少



ドメイン分割: Midpoint cell method (2)



Subdomain assigned by MPI
(Computation is assigned to one CPU)

Cell Boundary cell

Jung et al. J. Comput. Chem. 35, 1064 (2014)

相互作用計算

- 1. 同じセル:セルを持つプロセスが計 算
- 2. 異なるセル:セル間の中間セルを持 つプロセスが計算
- 3. 中間セルが一意に決まらない時には、 粒子数などから<u>自動的に決定</u>
- 4. それぞれのサブドメインの境界部分 (灰色)のセルのデータの通信のみ で計算可能



GPU CPU Initializaiton Initialization Send coordinates, charge, and atomic number **Exclusion List Pairlist** Send coordinates Real space Reciprocal space non-bonded non-bonded interaction interaction Bonded interaction Receive energy/force Accumulation of energy/force Integration

GPUでの高速化(1)

J. Jung et al. J. Chem. Theory Comput. 12, 4947 (2016)

計算を2つの部分に分け、CPUとGPUで分担

演算が主な部分:GPU

• 実空間部分(ペアリスト)

それ以外: CPU

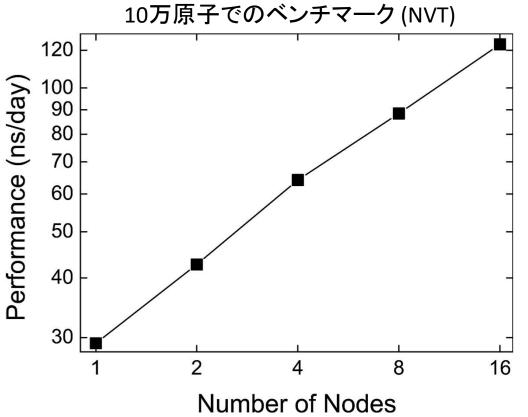
- 逆空間部分(FFT)
- 結合性相互作用
- I/O



Cygnusでの性能







4 GPU 利用 高い並列性 一方で単体の計算ではGPUの性能 を生かし切れていない部分もある



内容

- 分子動力学法ソフトウェアGENESIS
- GENESISの高速化、性能
- GENESISでできること
- 今日のハンズオンの簡単な説明



GENESISでできること (MD編)

モデル・機能	SPDYN	ATDYN
GPU利用	〇 (全原子モデルのみ)	×
全原子モデル	CHARMM, AMBER	
粗視化モデル	MARTINI	MARTINI, Cα-Go, all-atom GO
QM/MM	×	0
gREST/REMD/string method	0	
Free-energy Perturbation	0	×
Cryo-EM fitting	0	
r-RESPA	0	×
計算精度	混合精度、倍精度	倍精度

より詳しい説明はGENESISのマニュアルをご覧ください (download site)



GENESISでできること (解析編)

トラジェクトリ解析用ツール(CPUマシンで利用可)の一部 解析ツールのほとんどはデスクトップ、ラップトップでも利用可能

- Distance/angle/dihedral angles計算: trj_analysis
- RMSD計算: rmsd_analysis
- PCA計算: avecrd_analysis, flccrd_analysis, eigmat_analysis, prjcrd_analysis (avecrd_analysis, flccrd_analysisでRMSF計算も)
- 自由エネルギー解析: mbar_analysis, wham_analysis, pmf_analysis ...
- 拡散計算: msd_analysis, diffusion_analysis
- 膜分子の計算: lipidthink_analysis, tilt_analysis

16



GENESISの使い方

チュートリアル、サンプルインプットを用意(バージョンに合わせて更新)



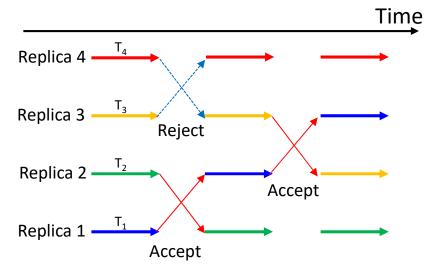
• シミュレーションから解析ツールまで一連の計算の流れを 確認できます



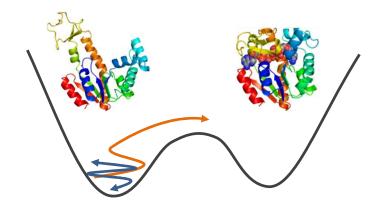
GENESIS計算の例 #1

レプリカ交換MD法によるサンプリング

Sugita & Okamoto, *Chem. Phys. Lett.* **314**, 141–151 (1999), Sugita *et al.*, *J. Chem. Phys.* **113**(15), 6042–6051 (2000).



T₁₋₄: 物理パラメータ(温度等)



異なる物理パラメータを持つ複数のレプリカ(=シ ミュレーションシステムのコピー)を同時に計算す ることでより効率の良いサンプリング計算を達成

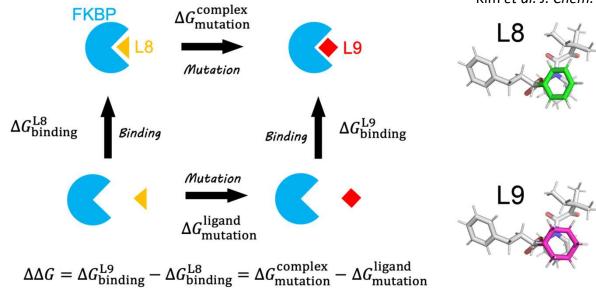


GENESIS計算の例 #2

Free-energy perturbation によるタンパク質-リガンド結合エネルギー計算

https://www.r-ccs.riken.jp/labs/cbrt/tutorials2019/genesis-tutorial-15-1/

Kim et al. J. Chem. Theory Comput., 16, 7207-7218 (2020).

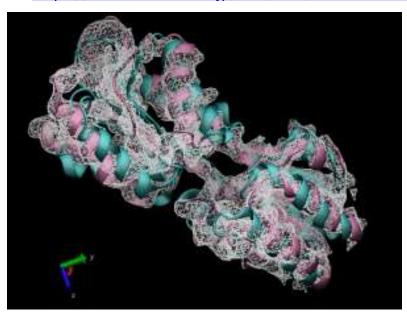




GENESIS計算の例 #3

Cryo-EM flexible fitting using a simulated map

https://www.r-ccs.riken.jp/labs/cbrt/tutorials2019/tutorial-17-1/



初期構造 (シアン)と fit後の構造 (ピンク) の比較

- T. Mori et al., Structure, 27, 161-174.e3 (2019).
- O. Miyashita et al., J. Comput. Chem., 38, 1447-1461 (2017).



内容

- 分子動力学法ソフトウェアGENESIS
- GENESISの高速化、性能
- GENESISでできること
- 今日のハンズオンの簡単な説明



今日のハンズオン

- 1. GPUでの高速化
 - GENESIS, spdynが持つ高速計算方法を使い、GPU計算を高速化する方法を学びます
- 2. レプリカ交換MD(REMD)計算
 - GENESISの特徴であるREMD計算をGPUで行います



ここまでのまとめ

- GENESISは
 - ▶ スーパーコンピュータの性能を最大限に引き出すことを 目的に独自の高速化、超並列手法を持つフリーソフト
 - ▶ 2つのMDエンジンと30を超える解析ツールを持つ アプリケーションスイート
 - ▶ 利用方法、サンプルは公式サイトに用意
- 今日はGENESISのGPU計算を高速化する方法について ハンズオンを行います



謝辞

• GENESIS開発

開発プロジェクトリーダー: 杉田 有治 博士(理化学研究所)

開発者: (順不同、特に1.5.x、1.6.x)

Jaewoon Jung 博士 (理化学研究所)

八木 清 博士 (理化学研究所)

森 貴治 博士 (理化学研究所)

尾嶋 拓 博士 (理化学研究所)

伊東 真吾 博士 (理化学研究所)

神谷 基司 博士 (理化学研究所、現・分子科学研究所)

松永 康佑 博士 (理化学研究所、現・埼玉大学)

松岳 大輔 博士 (理化学研究所、現·RIST)

優 乙石 博士 (理化学研究所、現・前橋工科大学)